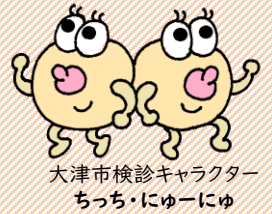


あなたに
知ってほしい

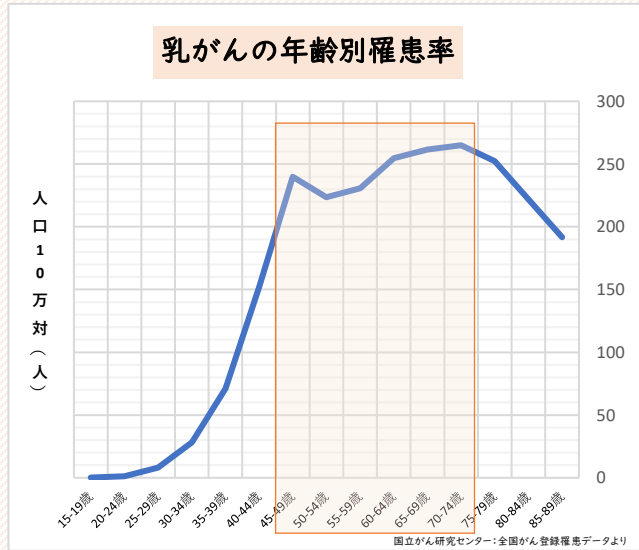
乳がんのそと



大津市検診キャラクター
ちっち・にゅーにゅ

乳がんってどんな病気？

- 乳腺の組織にできるがん
- 30歳代後半から罹患率が高くなり始め、40歳代後半と70歳代前半がピーク
- 日本人女性の9人に1人が生涯のうちにかかる



乳がん検診はどのくらいの頻度で受診するの？

国の指針では、2年に1回受診することを推奨しており、大津市でも2年度に1回、受診いただけます。**無症状のうちに検診を受診すれば早期発見につながり、適切な治療によって治癒が期待できます。**そのため、**定期的に乳がん検診を受けることが大切です。**

乳がん検診ってどんな検査？

- 検査方法はマンモグラフィ検査です。
- 乳房をプラスチックの板で挟み※、平たくして撮影(1方向または2方向)します。
- 小さいしこりや石灰化を見つけることができます。

※痛みを感じる場合もありますが、圧迫時間は数十秒ほどです。月経前1週間を避けて受診すると比較的痛みが少ないと言われています。

検査結果はどうやって分かる？

検査結果は後日、実施機関から通知が届きます。検診の結果、「要精密検査」となった場合は、必ず精密検査を受けてください。

受診までの流れ

- ① 受診する実施機関を決める
- ② 予約する
- ③ 受診する



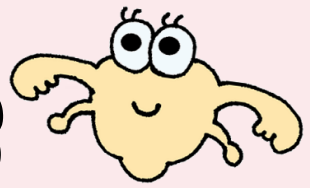
大津市HP:
乳がん検診のご案内

2年度に1回、乳がん検診を受けましょう

大津市健康推進課 大津市浜大津四丁目1番1号 077-528-2748

あなたに
知ってほしい

子宮頸がんのこと

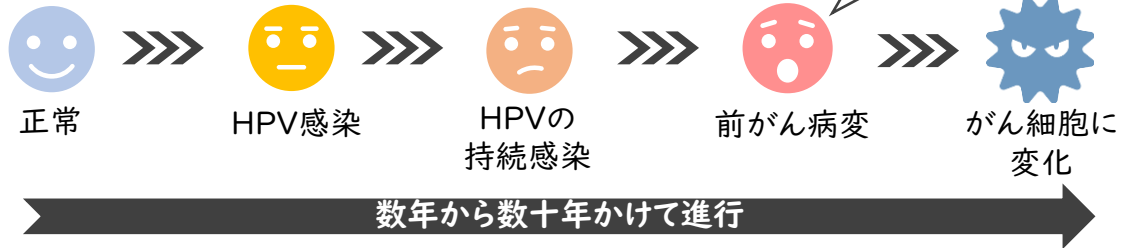


大津市検診キャラクター
きゅうちゃん

子宮頸がんってどんな病気？

- 子宮の入口(子宮頸部)にできるがん
- 主な原因は、性交渉によるHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染
- 早期のうちは無症状

【子宮頸がんの進行】



一度でも性交渉の経験があれば、誰でもHPV感染の可能性があります。HPVは通常、感染しても免疫の働き等で自然に無くなることが多いため「HPV感染＝がん」ではありません。しかし、まれに持続感染し、一部の細胞ががんに行進します。

子宮頸がんを予防する方法は？

子宮頸がんは自分では気づきにくい病気のため、**定期的に子宮頸がん検診を受けること**が大切です。検診で早期に発見すれば、比較的、予後の良いがんですが、進行すると治療が難しくなることから、**早期発見が極めて重要**です。

子宮頸がん検診ってどんな検査？

- 子宮や卵巣などの状態を触って観察します。
- やわらかい専用のブラシで細胞をとり異常な細胞がないか調べます。
- がんになる前の細胞(前がん病変)も見つけます。

検査結果はどうやって分かる？

検査結果は後日、実施機関から通知が届きます。検診の結果、「要精密検査」となった場合は、必ず精密検査を受けてください。

ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンについて

小6～高1の女性はHPVワクチンの定期接種(無料)の対象です。ワクチンの接種により、子宮頸がんをおこしやすい種類のHPVの感染を80%～90%防ぐことができます。

詳しくは保健予防課(077-526-6306)か
二次元コードへ。



**2年度に1回、
子宮頸がん検診を受けましょう**